

(様式1)

校 種	④ ・ 中	学校番号	2 6	学校名	宇都宮市立清原南小学校
-----	-------	------	-----	-----	-------------

令和6年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重を基盤に、知・徳・体の調和のとれたたくましい児童の育成を目指し、日本の伝統や文化を大切にし、平和な国家の形成者として、21世紀を担う心身ともに健康で心豊かな子供を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

「たくましく、思いやりがあり、よく学ぶ子の育成」

2 学校経営の理念

恵まれた自然環境と、148年の長い歴史と伝統を有する本校に勤務することに誇りと責任をもち、子供への愛と同僚との和をもって児童・保護者・地域の方々とともに歩み、自らの資質・能力を高めるとともに自己変革に努め、教育目標達成のために全力を尽くす。

また、先人に感謝しつつ、母校への誇りと自己の尊厳を高めるような教育活動を展開し、持続可能な社会の創り手となる子供たちが「未来を生き抜く人間力」を身に付けるため、知・徳・体のバランスのとれた力の育成に取り組む。そのために、児童・教職員・保護者・地域が連携し、多様な活動を通して地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

- (1) 地域に開かれた地域とともにある学校づくりの推進
- (2) 成長し続ける基盤となる知・徳・体のバランスのとれた力の育成
- (3) 新しい時代を生きるために必要な資質・能力の育成
- (4) 児童の様々な状況に対応した指導・支援の充実
- (5) 学び続ける教職員としての資質・能力とチーム力の向上
- (6) 業務の効率化と勤務時間を意識した働き方改革の推進

[清原地域学校園教育ビジョン]

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成 2nd stage
～人との豊かなかかわりを通して～

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法，同施行規則，新小学校学習指導要領等の法令並びに栃木県教育委員会の方針「栃木県教育振興基本計画2025」，宇都宮市教育委員会の「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」「令和6年度指導の重点」を踏まえて，公教育の立場を堅持し本校の教育目標達成のため，調和と統一ある教育課程を編成する。
- (2) 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え，学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で，その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列して，それぞれが充実した調和と統一ある教育課程を編成する。
- (3) 「うつのみや学校マネジメントシステム」の結果を受け，本年度の学校教育目標・学校経

営の方針を踏まえて、実態に応じた指導が計画的に行われるようにし、PDCA サイクルを確立して改善を図る。

- (4) 「地域とともにある学校づくり」を推進するため、地域協議会との連携により、地域の特性や願いを基に児童に必要な資質・能力を明確にし、地域の人的・物的資源を活用して、社会に開かれた教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・教職員の人権意識の高揚を図り、同僚並びに児童の人権を尊重した職場づくりを進める。
- ・教職員評価制度を活用して、個人及びチームのスキルアップを図る中で、学校運営への積極的な参画を目指す。
- ・教職員のカリキュラムマネジメントに対する意識の高揚を図り、児童に求められる資質・能力を教科等横断的な視点に立って育成できるよう、教育活動の質の向上に努める。
- ・積極的な授業公開を通して児童の学習上の課題解決の糸口を考えたり、効果的な取組を共有したりし、教職員としての資質・能力の向上と学び合う教師集団の育成を図る。
- ・学校 HP、各種便り等による情報発信を積極的に実施して、保護者や地域との連携を図り信頼関係の構築に努める。
- ・学校デジタル連絡ツールの積極的活用、対話を基にした OJT と協働体制の推進、業務改善委員会の改善案の取組並びに地域協議会と連携した外部人材の活用によって業務の効率化を図る。
- ・出退勤時刻管理システムによる勤務時間の自己管理や最終退勤時刻の設定、リフレッシュデーの設定、休暇等を取得しやすい勤務状況の構築を図り、勤務時間を意識した働き方改革を推進する。

○清原地区地域学校園構想と小中一貫教育の取組に基づき、小中9年間を見通した視点で効果的な取組や活動を検討し、授業改善並びに共通実践を行う。

(2) 学習指導

- ・図書や資料等の教材、1人1台端末を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善の推進を図る。
- ・授業改善の推進にあたり、「宇都宮モデル」の各場面の指導の充実を図る。
 - 「はっきり」・・・各教科等の見方・考え方を働かせて課題解決の見通しをもたせる
 - 「じっくり」・・・協働的に課題解決ができるよう指導・支援する
 - 「すっきり」・・・まとめと振り返りでは言語活動に取り組ませる
- ・特別支援教育の視点を取り入れた課題提示や学習展開を工夫し、個別最適な指導の充実を図る。
- ・根拠を基にした自分の考えをもたせ、その考えを安心して伝え合い、考えを深めたり広げたりすることができるよう教師のコーディネート力の向上を図る。
- ・学習の基盤となる資質・能力、現代的な諸課題（SDGs、人権教育等）に対応していく資質・能力を育成するため、教科等横断的な学習の充実を図る。

○「清原っ子家庭学習の約束」を通して、保護者の家庭学習の啓発を図るとともに、1人1台端末を活用しながら、家庭学習の取組を奨励し、確実な習慣化を図る。

(3) 児童生徒指導

- ・確かな児童理解に基づく、教師と児童の信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育成し、児童一人一人にとって魅力にあふれ安心して過ごせる学校づくりを推進する。
- ・いじめ・不登校対策の充実を図るため、各教科等の授業の質の向上や居がいのある学級づ

くり、規範意識の醸成、教育相談の充実、課題の早期発見・早期対応に組織的に取り組む。

- ・「いじめ防止基本方針」に基づき、児童がいじめを自分たちの問題として捉え、その解決に向けて主体的に行動できるよう、指導の充実を図る。
- ・特性のある児童の指導・支援については、保護者と児童理解、指導の在り方について共通理解を図るとともに教育支援委員会を開催して組織的な対応に努める。さらに、個々の状況に応じて SC、関係諸機関と連携して対応する。
- ・児童が活躍できる場と自らの成長を振り返る場を積極的に設定して、一人一人のよさや努力を認め励ます指導により児童の自己有用感や自己肯定感、たくましさを育む。
- ・児童の発想を活かした行事運営や異学年交流活動を推進し、児童の自主性や主体性の育成とリーダーシップ及びフォロワーシップの醸成を図る。

○「清原地域学校園の方針・約束・一日」を基に、教職員が同一の指導を行い、児童の基本的な生活習慣の確立を図る。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・「体力向上」「保健教育」「食育」「安全教育」を一体的に捉え、デジタルを効果的に活用しながら児童が心身ともに健康で安全な生活を送るための資質・能力の育成を図る。
- ・運動量を確保した授業や児童の体力の状況に応じた補教運動の実施に加え、業間遊び、「うつつのみや元気っ子チャレンジ」の取組など教育活動全体を通して運動の機会を創出し、体力向上を推進する。

○新体力テストの結果を基に、地域学校園全体で児童が主体的に運動に取り組む授業内容を組織的に検討して実践する。

- ・自己の健康課題を把握し、生活習慣の改善や健康の保持増進に努めることができるよう、家庭と連携して健康管理能力の育成を図る。

○給食の時間や教科等における食に関する指導をはじめとし、地域学校園統一の食育に関する取組を実践し、家庭と連携しながら望ましい食習慣の定着を図る。

- ・教育活動全体を通して、児童自らが危険を予測し回避するなど、自らの命を守り抜くための判断力と実践力の育成を図る。

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式 2～4 参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- **本とのふれあいを通して**、豊かな情操を育むとともに、確かな情報収集・処理能力を育成する。
 - ・読書習慣の形成
 - ・表現力や想像力の育成
 - ・興味関心の高揚
 - ・情報収集能力・情報処理能力・情報活用能力の伸長
- **地域とのふれあいを通して**、地域の人・自然・社会への愛着心を育み、一体感を形成する。
 - ・多様な体験（勤労生産・自然体験）を通じた価値の発見
 - ・地域施設の発見
 - ・交流活動を通じた愛着心の伸長
 - ・地域人材・地域教材の価値の再確認
 - ・ボランティア精神の涵養
 - ・地域の一員としての自覚の高揚
- **人とのふれあいを通して**、多様な価値観・人との融和感・連帯感を醸成する。
 - ・多様な価値への気づき
 - ・世界観の広がり
 - ・集団の楽しさの理解
 - ・規範意識の醸成
 - ・感謝する心
 - ・思いやりの心
 - ・コミュニケーション能力の向上

・リーダーシップとフォロワーシップの育成 ・自主性や主体性の育成 ・協調性の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

		本とのふれあい	地域とのふれあい	人とのふれあい
清南つながろうプロジェクト	教科・道徳・特活・総合	・朝の読書 ◇読み聞かせ ・ファミリー読書 ◇司書ブックトーク ・読書週間 ・学級文庫の充実 ・図書室の活用 ・必読図書（チャレンジ読書） ・公立図書館との連携 ・辞書の活用 ・調べ学習	◇勤労生産的行事 ◇田植え・稲刈り・農園活動 ◇地域クリーン活動 等 ・地域素材の教材化 ・水辺の楽校 ・高田沼公園 ・清原工業団地（カルビー工場） ・道徳科地域教材「荒井退造」 ◇地域人材・「街の先生」の活用 ・学習ボランティア（水泳・ミシン・昔遊び・昔の道具体験等） ・教材作成ボランティア ・読み聞かせ（南風） ・「宮っ子『夢』教室」（キャリア教育） ・地域と連携した各種行事 ・清南まつり ・感謝の会 ・ふれあい給食等	◇縦割り班活動の推進 ・清掃・給食 ・集会活動 ・業間共遊 ◇あいさつ運動 ・児童会 ・中学校 ・地域 ・企業等との連携 ・各種出前講座の活用（環境・福祉・珠算 等） ・家庭との連携 ・親子奉仕活動 ・親学講座 ・親子給食

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

児童の地域活動への参加と地域人材の学校教育への参画を通して、学校・保護者・地域が相互に関わり合える関係性の構築を図る。顔の見える関係作りによって児童の安全確保や地域への愛着、自己肯定感の醸成及び地域協力者の生き甲斐づくりに取り組む。

②主な取組

- ・地域行事への児童の積極的参加（体育祭・文化祭・どんど焼き）
- ・地域人材の学校教育への参画（学習ボランティア・田植え・稲刈り・農園活動等）
- ・児童の奉仕的活動による地域への参画（地域クリーン活動）
- ・児童の安全確保に関する取組（登下校時の防犯パトロール・通学路点検）

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

学校園運営委員会のもと「学力向上」「特色ある学校作り推進」の部会をおき、更にその下に「教科教育」「宮っ子心の教育」「宮・未来キャリア教育」「元気アップ教育」の各委員会を置く。各活動を通して、中学校や地域人材と連携し、人との豊かな関わりの中で、将来に夢をもち夢の実現のために主体的に取り組む児童を育成する。

②主な取組

- ・地域学校園あいさつ運動（中学生が小学校の朝のあいさつ運動に参加）
- ・小中を通したキャリア教育(キャリアパスポート,夢ロード,6年「宮っ子『夢』教室」)の実施
- ・小中共通の取組内容を基にした授業実践と成果の検証
- ・6年生の中学校訪問（中学校入学に向けての不安解消）
- ・中学校教諭と6年担任との情報交換会の実施

（3）不登校対策

①基本的考え

児童のよさを認め励ます指導を通し、児童一人一人が居がいのある温かな学級づくりに努める。さらに、児童観察や教育相談等により不登校の予防に努めるとともに、校内組織を活かした対応や1人1台端末を活用した学習支援、家庭や関係機関との連携により、不登校の解消を図る。

②主な取組

- ・個を大切にした学級経営の充実
- ・情報の共有と個別の支援計画の作成
- ・ハートタイムやQ-U調査結果等による予防的開発的児童指導の推進
- ・必要に応じた教育支援委員会の開催とチーム支援体制の構築
- ・1人1台端末を有効に活用した学習支援

（4）GIGAスクール構想

①基本的考え

児童と教師の1人1台端末の日常化を図るとともに、協働学習ツールを活用した授業を推進することにより、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。また、各種情報を整理して校務のデジタル化を進め、教職員の負担軽減を図る。

②主な取組

- ・効果的な端末活用の取組について校内実践例の共有化
- ・協働学習ツール“school Takt”の活用推進
- ・ICT支援員を活用した、ICT活用指導力向上の校内研修の推進
- ・1人1台端末を活用した家庭学習の内容と進め方について、家庭との情報共有と連携
- ・「情報モラル/デジタル・シティズンシップ教育年間指導計画」に基づいた情報モラル教育、デジタル・シティズンシップ教育の充実
- ・学校デジタル連絡ツールの積極的な活用

（5）宇都宮学

①基本的考え

地域人材や地域資源及び教材・資料等を積極的に活用したり、「宇都宮学」において多様な体験的活動を取り入れたりして、宇都宮に係る学習の充実を図り郷土理解を深めるとともに、児童が郷土への誇りと愛情をもてるようにする。

②主な取組

- ・社会科副読本の活用や宇都宮学施設めぐりを通した郷土理解
- ・百人一首等の市の文化資源や産業に関する出前授業の実施
- ・体験的活動を通した伝統工芸の探究学習
- ・地域素材の「水辺の楽校」、「高田沼公園」を活用した体験学習の実施
- ・地域の偉人「荒井退造」に関する探究学習
- ・給食の時間における地域食材や郷土料理の提供を通した食文化の学習